

2025 年 10 月 1 日

関係各位

公益財団法人日本体操協会
体操競技男子強化本部
審判委員会体操競技男子審判本部

体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1 および NO.2)発行に伴う国内適用について

FIG(国際体操連盟)は2025年8月5日に公式ホームページ上にてニュースレター(NO.1)【2025年8月】を掲載しましたが、その約1ヶ月後の9月19日にニュースレター(NO.2)【2025年9月】を掲載し、ニュースレター(NO.1)からの修正点や、さらに新しい情報を公開しました。

強化本部および審判本部では、ニュースレター(NO.1)の内容を精査し、その翻訳版と国内競技会における適用日を8月20日に日本体操協会ホームページにて公開しました。しかし、今回新たな情報が入ったため、改めてニュースレターのNO.1 および NO.2 に含まれる新しい情報のみを抽出し国内競技会における適用開始日別に掲載することとしました。

次頁以降に掲載されている内容を理解し、強化および審判活動にお役立ていただければ幸いです。

原文

【FIG ニュースレター (NO.1)】 FIG 公式サイト

http://www.fig-docs.com/website/newsletters/MAG/2025/MAG_NL_1_en.pdf

【FIG ニュースレター (NO.2)】 FIG 公式サイト

http://www.fig-docs.com/website/newsletters/MAG/2025/MAG_NL_2_en.pdf

【体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1)発行に伴う国内適用について】

<https://jpn-gym.jp/wp-content/uploads/2025/08/85dbeb286f8cf328df99e738d137b51a.pdf>

【体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.2)発行に伴う国内適用について】

<https://jpn-gym.jp/wp-content/uploads/2025/10/19a7a4f6f53b8988e177d25739975136.pdf>

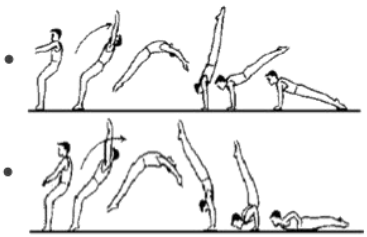
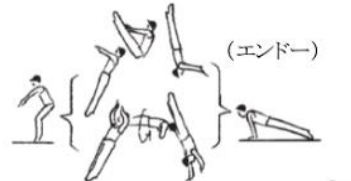
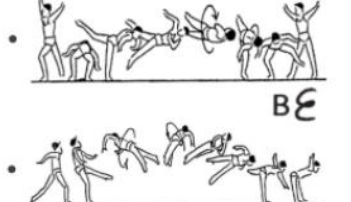
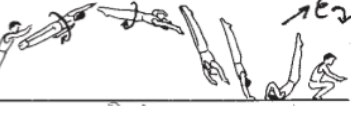
体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1 および NO.2)発行に伴う国内適用

国内適用日: 2025 年 11 月 1 日

◆ ゆ か

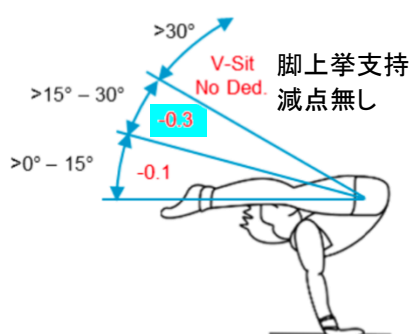
- ゆかにおいて、演技内に片足平均立ち(バランス技)を実施しなければならないが、この条件には以下に該当するジャンプ/リープ技を含めることとする。なお、これらの技はカウントされる8技に含まれる必要はない。もしも、これらの動きが含まれない場合は、D審判によって0.30の減点(ND)となる。

【該当するジャンプ/リープ技】

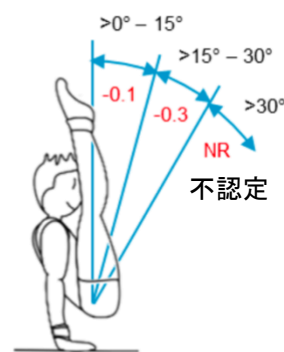
A	B	C
67 後ろとび正面支持臥 <i>Jump bwd. to front support.</i> 	68 ・後ろとび屈・伸身正面支持 ・後ろとび1回ひねり正面支持 <i>Jump bwd. with pike-stretch or with 1/1 turn to front support.</i>  (エンドー)	
73 鹿ジャンプ1回ひねり <i>Stag Leap with 1/1 turn</i> 	74 ・バタフライ1回ひねり ・後方バタフライ1回ひねり <i>Butterfly with 1/1 twist fwd. or bwd. (トンフエイ)</i>  BE	75 バタフライ2回ひねり <i>Butterfly with 2/1 twist.</i> 
115 前とび1回ひねり正面支持臥 <i>Jump fwd. with 1/1 turn to front support</i> 	116 後ろとび3/2ひねり正面支持臥 <i>Jump bwd. with 3/2 twist to front support</i> 	117 前とび2回ひねり正面支持臥 <i>Jump fwd. with 2/1 twist to front support</i> 
43 前とびひねり倒立 <i>Jump fwd. with 1/2 turn to momentary handstand</i> 	11.8 伸身前とび前転1回ひねり <i>Dive roll with 1/1 twist</i> 	

体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1 および NO.2)発行に伴う国内適用

- 鹿ジャンプ1回ひねりは、その要件を満たしてA難度を得るためには、1回ひねりを完全に空中で行わなければならない。空中で1/2回ひねりした後に片足軸で1/2ターンをする鹿ジャンプは、コーナー移動の動きとしては認められるが、**ジャンプ／リプの要件を満たさない**。
- 選手は演技をアクロバットの跳躍技(グループ I 以外の技)から開始しなければならない。そうでない場合、D審判によって0.30の減点(ND)となる。
- マンナの正しい姿勢は、脚が床面と水平な状態である。脚が水平から最大30° 不足する場合、0.10または**0.30**の減点となる。垂直までのその他の脚の姿勢は、角度減点のない脚上拳として認定される。脚が垂直から最大15° 不足する場合は0.10、15° 超から30° 不足する場合は0.30の減点となる。30° を超える場合は不認定となる。



減点の無いマンナ



減点の無い脚上拳支持

◆あん馬

ベルトンチェリ(II.57)は、一把手上での縦向き正面支持または**横向き正面支持**のいずれかで完了することができる。したがって、ベルトンチェリ横向き正面支持からも、フロップまたはコンバインを開始することができる。



1+2		一把手上縦向き旋回/ シュテクリB/シュテクリA	
		3	4
ベルトンチェリ/ダフチャン + 一把手上縦向き旋回 または ベルトンチェリ+シュテクリ B		E	F
	+	E	F

ベルトンチェリ/ダフチャン + 一把手上縦向き旋回 または ベルトンチェリ+シュテクリ B	ロシアン		
	+	R180° or 270°(B)	E
	+	R136° or 540°(C)	F
	+	R720° or 900°(D)	G
	+	R1080°(E)	H

◆鉄 棒

1. ロシア式車輪(I.69)と大逆手車輪の違いは、バーの真上を越える際に要求される肩の角度で区別される。ロシア式車輪は、大逆手でバーの真下を通過する際に、肩が未転位の状態が必要となる。バーの真上でも肩が未転位の状態を維持しなければならない。肩が手の真上に来る位置で、肩から骨盤の上部(水色の線)を通る角度が水平線に対して 60° 以下となるように実施する(写真 1)。この角度(水色の線)が 60° を超えた場合、大逆手車輪として認定する(写真 2)。



ロシア式車輪として認定されるためには、大逆手で身体と肩を開く捌きは、バーの真上での肩角度 60° 以下を満たしてから開始されなければならない。

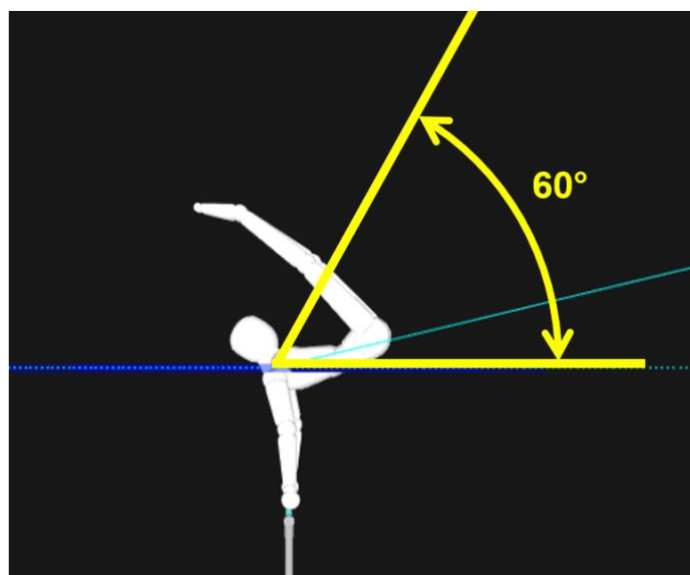


写真 1. ロシア式車輪

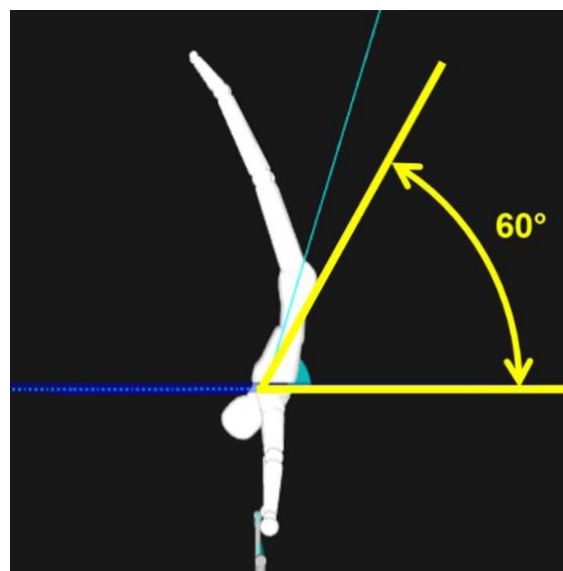


写真 2. 大逆手車輪

2. ウィンクラーまたはポゴレロフ(II.42)は、身体をまっすぐに伸ばして行わなければならない。手が離れている間に、身体が 45° を超えてまがった場合は、0.50 の減点となり**不認定**となる。



【ウィンクラー／ポゴレロフに該当する採点規則上の減点項目】

欠点	小欠点 0.10	中欠点 0.30	大欠点 0.50
あいまいな姿勢/身体のまがり	30° まで	$>30^{\circ} \sim 45^{\circ}$	45° を超える ＝難度不認定
運動面からの逸脱	15° まで	$>15^{\circ}$	
膝がまがる	●	●	●
足先がまがる	●		
手放し技において雄大性に欠ける	●	●	

◆新しい技

【あん馬】

ジェシー・モーア(オーストラリア)

- ベルトンチェリからブスナリ
- **G** 難度(Ⅱ-60)
- 2025 年ドーハ(カタール)で開催されたワールドカップで発表された。
- 技名:モーア



【跳馬】

マフディ・オルファティ(イラン)

- ユルチェンコ後方かかえ込み宙返り1回ひねり
- Dスコア **5.6**(#522)
- 2025 年韓国で開催されたアジア選手権で発表された。
- 技名:オルファティ



【平行棒】

ジェームズ・ホール(イギリス)

- 前方宙返り開脚抜きひねり腕支持
- **E** 難度(Ⅱ-95)
- 2025 年ドーハ(カタール)で開催されたワールドカップで発表された。
- 技名:ホール



体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1 および NO.2)発行に伴う国内適用

国内適用日:2026 年 1 月 1 日

◆ ゆ か

1. (180° ターンを伴う/伴わない)単純なステップは、芸術性の欠如として小欠点(0.10)となる。
2. すべてのコレオグラフィ的なリープ、ジャンプ、ターンは、十分な大きさと身体の開きを示す必要があり、そうでない場合は小欠点(0.10)となる。
3. コーナーへの移動の動きはすべて異なるものでなければならず、そうでない場合はD審判によって 0.30 の減点(ND)となる。動画には、認められる移動の例が示されている。
4. Dスコアを算出する際は(ゆかにおいても)はじめに終末技を数えた後、難度の高い順に7技を数える。

◆ 平行棒

支持または腕支持から、後ろ振りとび3/4、1/1、または3/2ひねり倒立(ギャツツン系の技)は、空中局面を伴って実施しなければならない。該当する技は、II-82、II-83、II-84、およびI-41である。これらの技は、空中局面中に少なくともとび3/4ひねりを伴ってから最初の支持手が入らなければならない。とび動作が3/4ひねりに満たないギャツツン系の技、例えばパトロン(とび1/4ひねりののちに片腕支持で3/4ひねり)を実施した場合には、**1つ低い難度で認定される**。同系のすべての技で、明確ではっきりとしたとび動作が要求される。

【ギャツツン系の技】

技番号	難度	技名表記
II.81	C	後ろ振りとびひねり倒立
II.82	D	後ろ振りとび 3/4 ひねり単棒倒立
II.87	C	後ろ振りとび 3/4 ひねり単棒倒立(とび動作が 3/4 に満たない)
II.83	E	後ろ振りとび1回ひねり倒立(ギャツツン)
II.88	D	後ろ振りとび1回ひねり倒立(とび動作が 3/4 に満たない)
II.88	D	後ろ振りとび 1/4 逆ひねり単棒倒立経過 3/4 ひねり倒立(パトロン)
II.84	F	後ろ振りとび 5/4 ひねり倒立経過 1/4 ひねり倒立(ギャツツン2)
II.89	E	後ろ振りとび1回ひねり倒立(とび動作が 3/4 に満たない)経過 1/4 ひねり倒立